

給水・給湯加圧ユニット

Shampoo JET pro

Shampoo JET jr.

施工説明書

(施工業者様用)

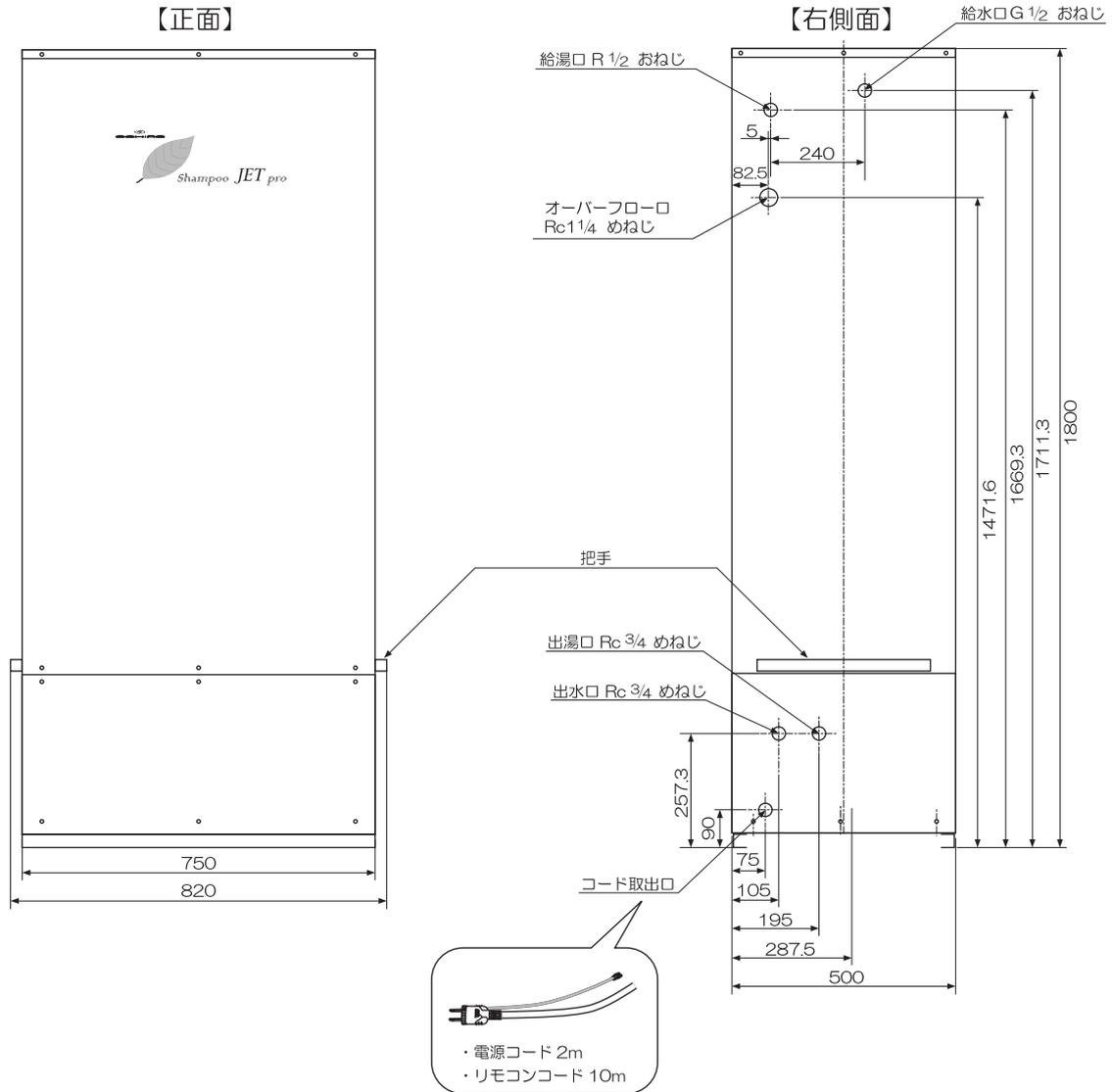


OOHIRO

各部の名称・寸法

シャンプージェット・プロ

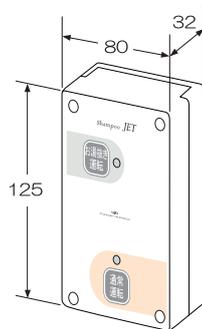
1. 本体



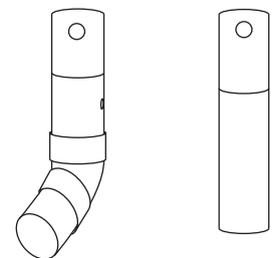
2. 付属部品



・施工説明書（本書 1冊）



・リモコン



シャンプージェット
プロ用 シャンプージェット
ジュニア用

・セパレーター (1コ)

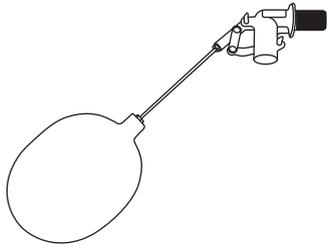
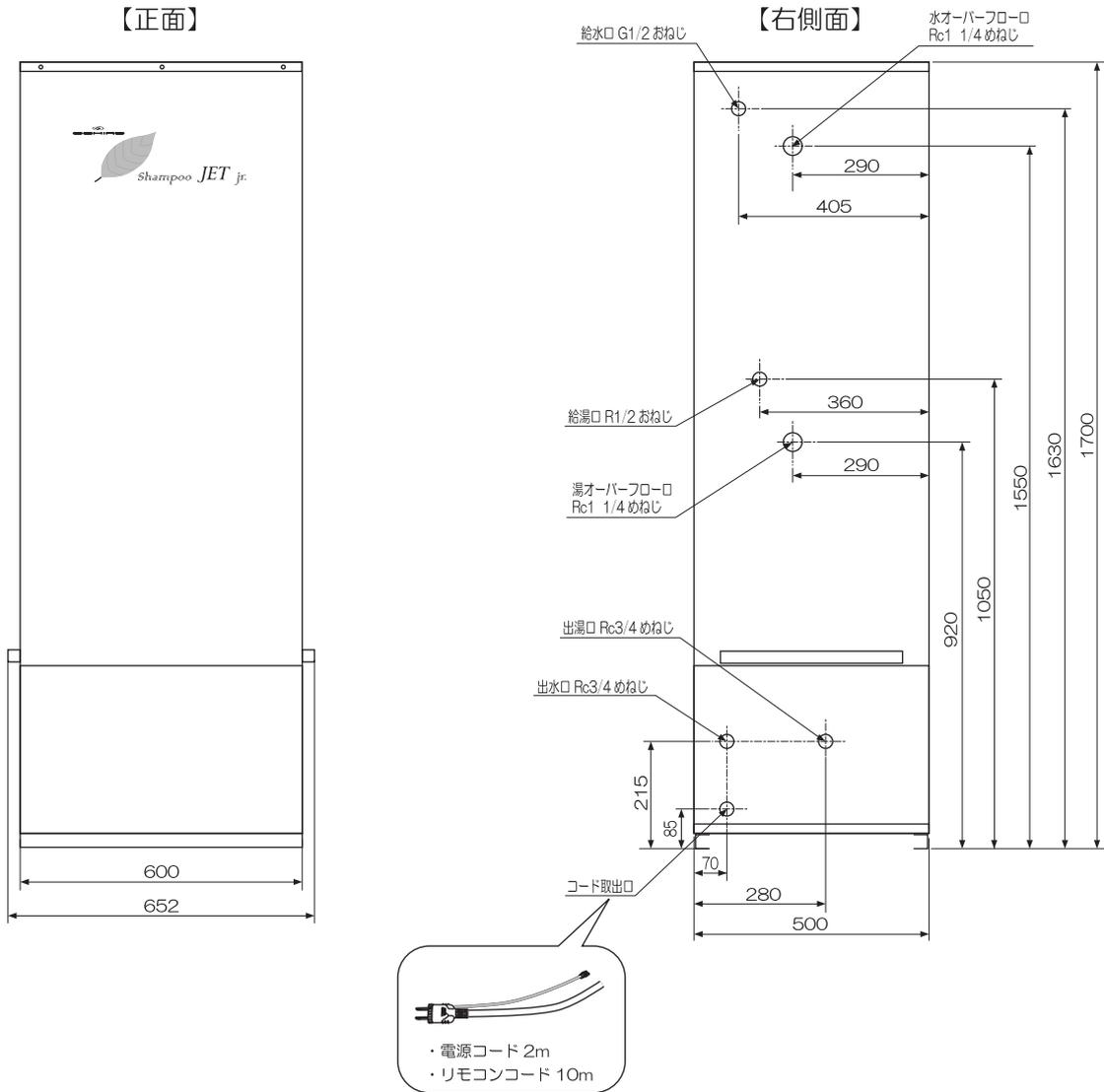


・リモコン
取付ネジ A (4本)



・リモコン
取付ネジ B (2本)

シャンプージェット・ジュニア



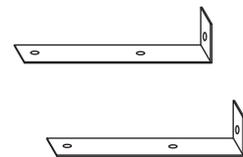
・ボールタップ (1 セット)



・バルブ付ストレーナー (1 コ)



・湯側ストレーナー (1 コ)



・転倒防止金具 (2 コ)

取付前に

1. 電気製品ですので、水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所での使用は避けてください。
2. 万一の漏水に備えて床の防水工事及び排水溝を設けてください。
3. 電源は交流 100V(50/60Hz) 最高消費電力は 1400W です。必ずこれに適した配線をしてください。(20A 専用回路)
4. 「シャンプージェット・プロ」及び「シャンプージェット・ジュニア」本体の電源コードの有効長さは 2m です。この範囲にコンセントを設けてください。また、リモコンコードの有効長さは 10m です。この範囲にリモコンを設置してください。
5. アース工事は必ず行ってください。※第 3 種設置工事で行ってください。
6. 貯湯能力は 90ℓ(プロ) / 60ℓ(ジュニア) ですので、接続する給湯器は 24 号以上(プロ) / 16 号以上(ジュニア) の能力のものをご使用ください。
7. 凍結の恐れがある場合は、温水加圧ユニットの凍結破損予防のため、常時通電しておく必要があります。したがって、御施主様が未入居などで通電できない場合は、給水接続工事は入居後に行ってください。**必ず設置床面に防水処理、または漏水対策を施してください。**



注意

電気工事は電気工事店にご依頼いただき施工を行ってください。

設置方法

1. 設置場所は漏水しても支障のない所か、漏水しても排水が十分にできるようにしておいてください。特に屋内や 2 階以上に設置される場合など、床や階下に水が流出しないような配慮が必要です。
(ポンプの摩耗による水漏れ、修理、点検時の分解掃除や万一の故障の際に多量の水が流出したり、オーバーフロー管より水があふれた場合など、周囲や階下などが水浸しになる恐れがあります。)
2. 設置面は平たんで傾きがない場所を選んでください。
3. 架台の上のせる場合は、満水時の重量に耐えるものをご使用の上、防振ゴム等をひいてください。
満水時の重量は 300kg(プロ)、210kg(ジュニア) となります。
4. 設置場所は保守点検が容易に行え、できるだけ直射日光を避けた清潔な場所を選んでください。
(やむを得ず、狭い場所に設置される場合は少なくとも、後の点検、保守を考慮して点検カバー(前側カバー)が取外せるような場所に設置してください。)
5. リモコンは水のかからない所に取付けてください。

配管方法

給水・給湯加圧ユニットの天面には天板がはずせるスペースを確保してください。また、周囲には点検カバーが外せるスペースを設けてください。(点検カバーの前面には点検スペース 600mm 以上が必要です)

1. 給水・給湯・出水・出湯の配管には、保守点検のため必ず **ユニオン継手** を取付けてください。また、給水管には付属のバルブ付ストレーナ、給湯管にはストレーナを必ず取付けてください。
冬季凍結予防の水抜き用として、水抜き栓をとりつけてください。
循環仕様をご使用時は付属の電動弁組み品を取付けて屋外の場合は必ず、付属カバーを取付けてください。ご使用にならないときは配管口に必ず止め栓をしてください。
2. 給水・給湯・出水・出湯の配管には、エア抜き弁を取付けてください。
3. オーバーフロー管を配管する場合、汚水の逆流防止のために先端は水中に伸ばさないでください。また、オーバーフロー管は先下り勾配で配管してください。(必ず間接排水をしてください)

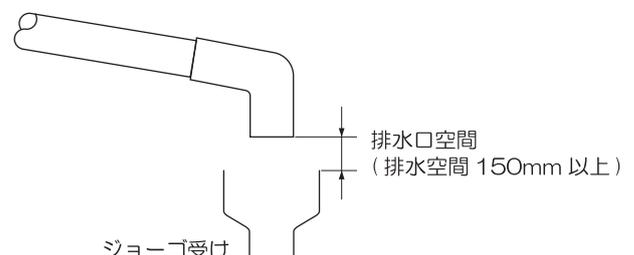


注意

オーバーフロー管には絶対に止水栓を取付けしないでください。

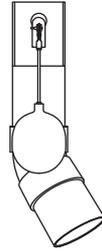
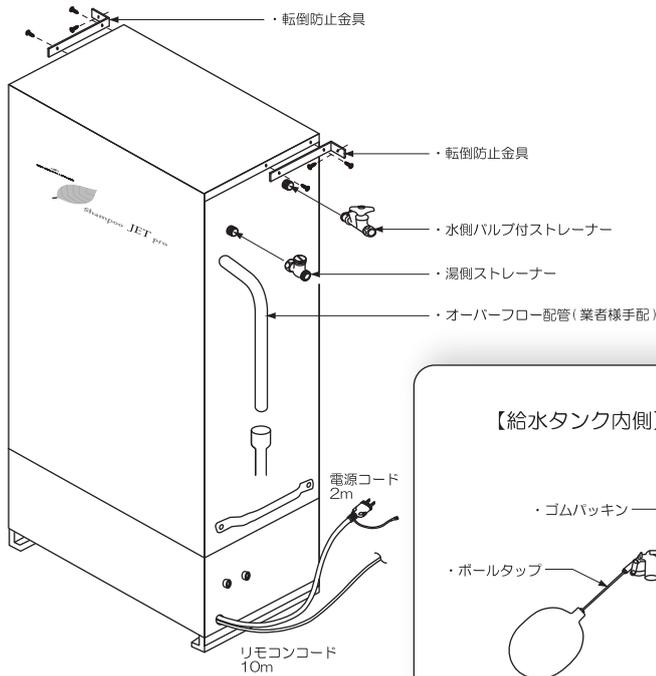
4. 臭気が上がってくる心配がある場合には、トラップを設けてください。

間接排水



各配管接続とボールタップ及びセパレーターの取付方

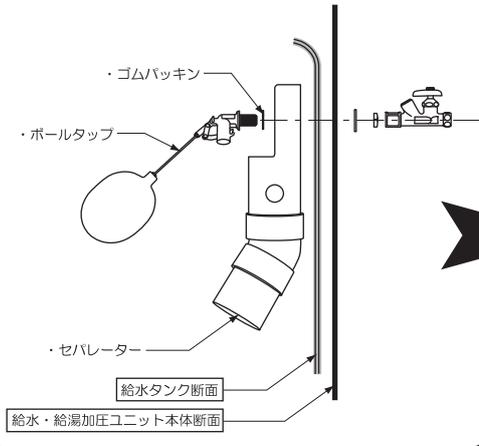
シャンプージェット・プロ



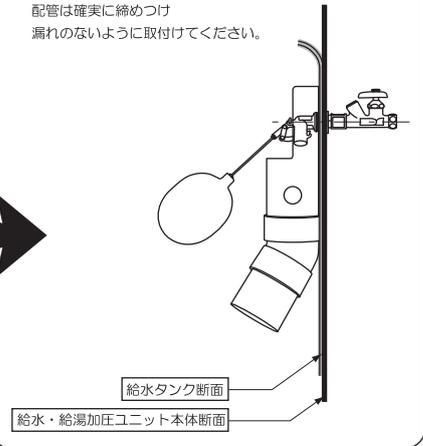
※注意
 セパレーターとボールタップは垂直に取付けてください。斜めに取付けると正常に作動しなくなります。また、波立ちが激しくなるため給水が止まらずオーバーフローの原因になります。

【給水タンク内側】

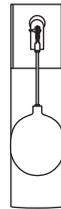
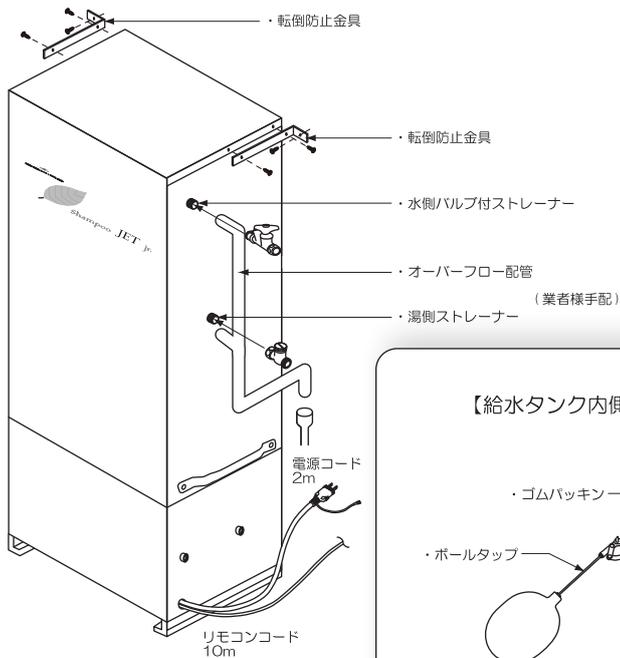
【本体外側】



※注意
 配管は確実に締めつけ漏れのないように取付けてください。



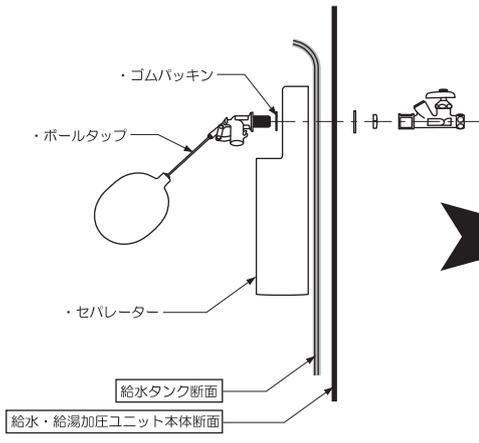
シャンプージェット・ジュニア



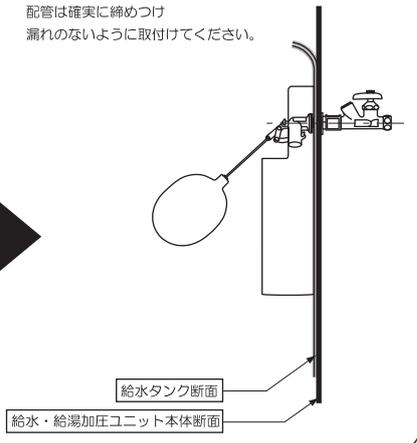
※注意
 セパレーターとボールタップは垂直に取付けてください。斜めに取付けると正常に作動しなくなります。また、波立ちが激しくなるため給水が止まらずオーバーフローの原因になります。

【給水タンク内側】

【本体外側】



※注意
 配管は確実に締めつけ漏れのないように取付けてください。



配線図

配線は電気設備基準や電力会社の内線規定に従って確実に行ってください。

1. 電源

50/60Hz の区分があり専用ポンプが必要になります。

ご購入の際に区分の確認を行い、専用のポンプを付け出荷しておりますが、配線を繋ぐ前に本製品に記載されている区分の確認をお願いいたします。

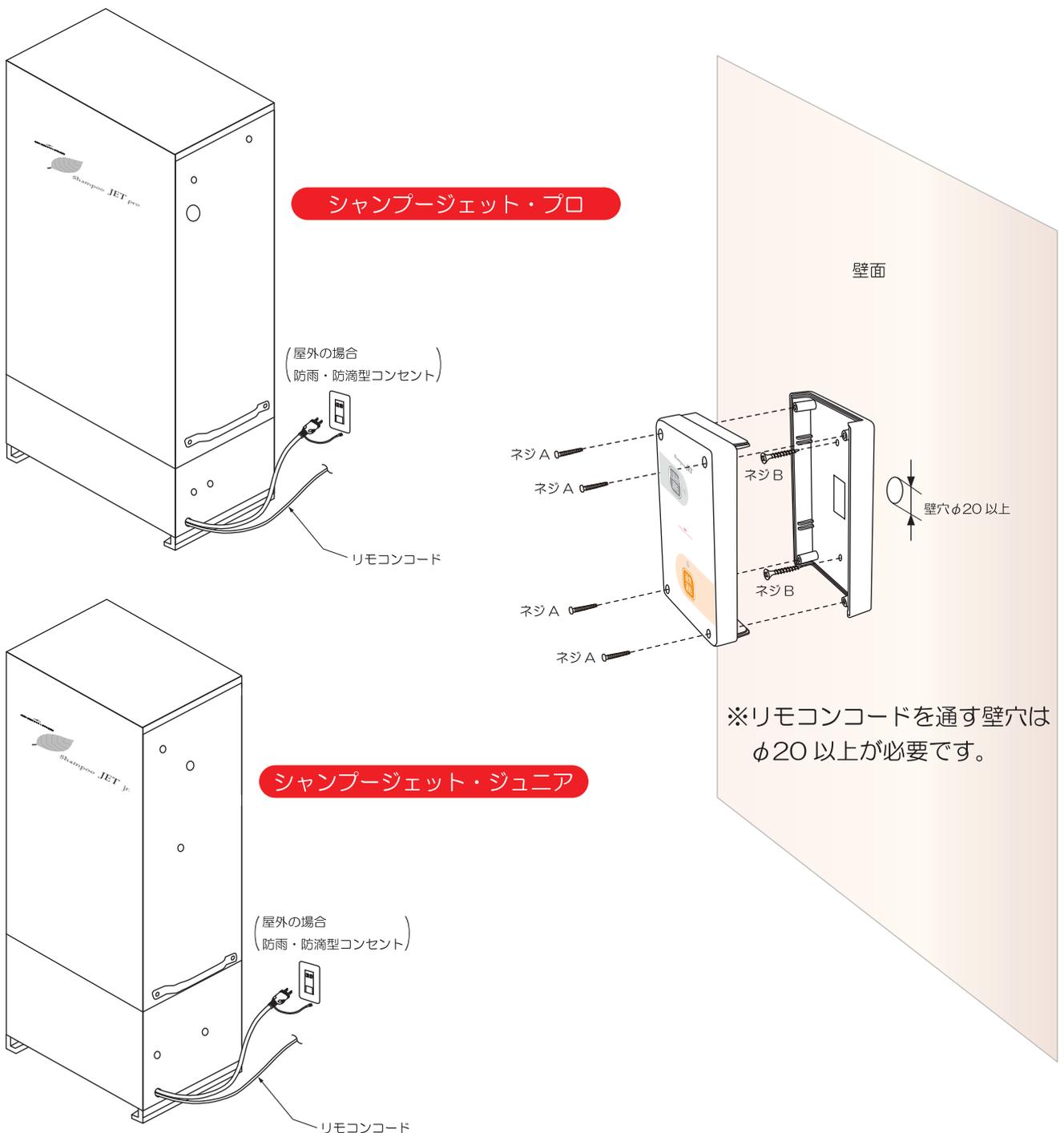
この給水・給湯加圧ユニット（シャンプー・ジェット・プロ / ジュニア）は、本体に電源コードが付いていますので50Hz 及び60Hz と専用コンセントに差し込むだけで使用できます。

屋外設置の場合には屋外に防雨防滴型コンセントを取付けてください。

2. リモコンは希望の位置に付属の取付ネジB（コースレッドφ3.8×38 皿）で取付けてください。

※リモコンコードの有効長さは10m です。

リモコンコードコネクターを持ち、リモコンにカチッと音がするまで差し込んでください。

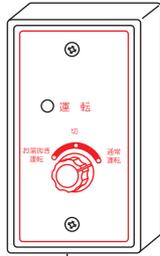


基板接続配線図

※使用するリモコンによって本体基板上の赤いスイッチを切り替えてください。

【旧型 NEW シャンプージェット用
リモコン】

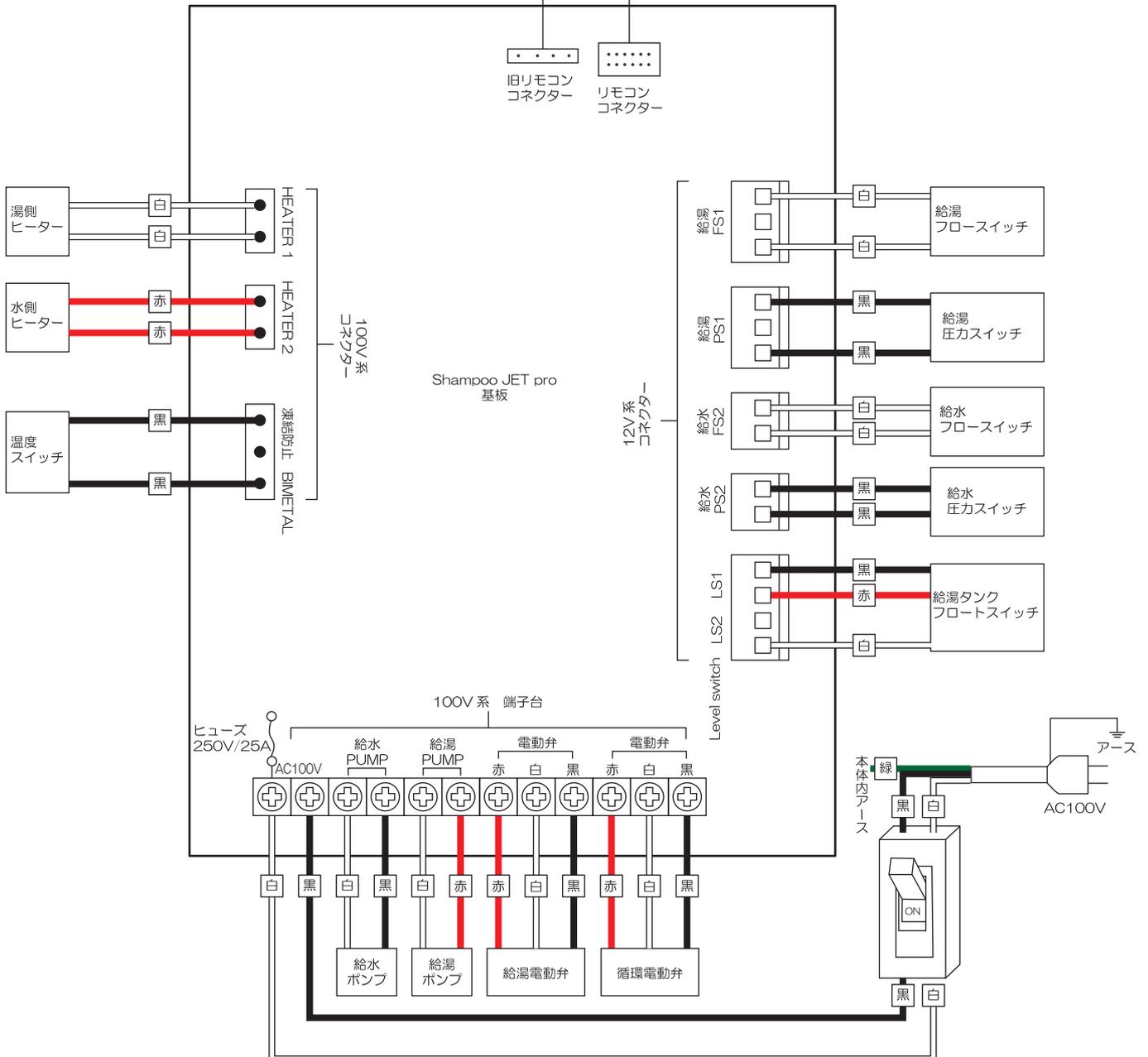
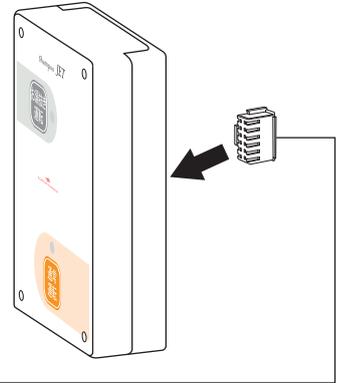
★旧型リモコンがそのまま使用できます
旧型「NEW シャンプージェット」から
買い替えの場合には、リモコンはその
ままご使用いただけますので、配線し
なおす必要がありません。(循環機能
レスタイプを選択した場合のみ)



ON シャンプージェット・プロ用
/ ジュニア用リモコン



1 旧 NEW シャンプージェット用
リモコン



試運転

取付けが完了したら、次の方法で試運転してください。

1. 試運転の前に

給水管のバルブ付ストレーナーが開いているか、給湯管の水抜栓が閉じているかを確認してください。

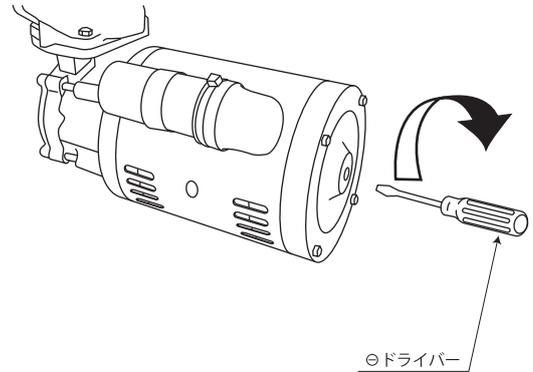
モーターポンプ軸の回転確認をしてください。

【ポンプモーター軸の回転確認】

ポンプが固着して回転しない場合があります。

設置前には必ず次の要領でポンプ軸を回してください。

- ①前面の点検扉を開けてください。
- ②マイナスドライバーで2台のポンプのモーター軸を時計方向に回してください。
- ③回転確認が終わったら点検扉を元の位置に取付けてください。



2. 試運転

①「シャンプージェット・プロ / ジュニア」本体の電源コードを AC100V コンセント (20A 専用回路) に確実に差し込んでください。(漏電遮断機は「ON」の状態です)

②給湯器の準備を行ってください。

(ガス元栓を開け、給湯器のコントローラーのスイッチを入れ設定温度を冬場は 75℃に、それ以外の季節は 60℃にしてください)

③「シャンプージェット・プロ / ジュニア」リモコンの **通常運転** ボタンを押してください。(LED が点灯します)

5～8分程度お待ちください。(元水圧 0.1Mpa で約 10分かります。)

5～8分経過後タンク内が満水になり、給水・給湯が停止します。

④混合栓から任意の温度のお湯が出湯するのを確認し、次のことを確認してください。

- a) 温水が正常に吐出するか
- b) 温水の温度は適温かどうか(混合栓の設定温度になっているかどうか)



※ **通常運転** ボタンを押しても LED が点灯しない場合にはリモコンコードの差し込みが不十分か断線の可能性がありますので点検をお願いいたします。

★旧型「NEW シャンプージェット」のリモコンがそのままご使用になれます

旧型「NEW シャンプージェット」から買い替えの場合には、リモコンがそのままご使用いただけますので、配線しなおす必要がありません。

凍結防止

給水・給湯加圧ユニット「シャンプージェット・プロ / ジュニア」本体は電源コードをコンセントに差し込むだけで凍結を予防できますが、水道配管や温水混合栓の凍結を予防するために必ず次の処理をしてください。

水道配管やバルブ類には保温材を巻いてください。

寒冷地では加熱ヒーターを巻くか、配管内の水が抜けるように別途水抜き設備を設けてください。

3重の安心設計

【Shampoo JET pro】【Shampoo JET jr.】は「モーターポンププロテクター」「25A ヒューズ」「漏電ブレーカー」の3つの安心・安全装置が装備されています。

① モーターポンププロテクター（モーターポンプの過負荷保護装置）

モーターポンプに負荷が掛かり過ぎた場合に過電流が生じます。過電流によるモーターポンプの破損を防止するためモーターの通電を停止します。

（モーターポンプにゴミや鉄サビなどが噛んでロックした場合などに起こります）

本体右側面のモータープロテクター（モーターポンプの過負荷保護装置）のボタンを押せばリセットできます。

※プロテクターボタン2個（湯側・水側に各1個ずつ）

② ガラス管 25A ヒューズ（基板保護装置）

落雷・過電流などから電気回路を保護するための装置。メイン基板内に装着されています。

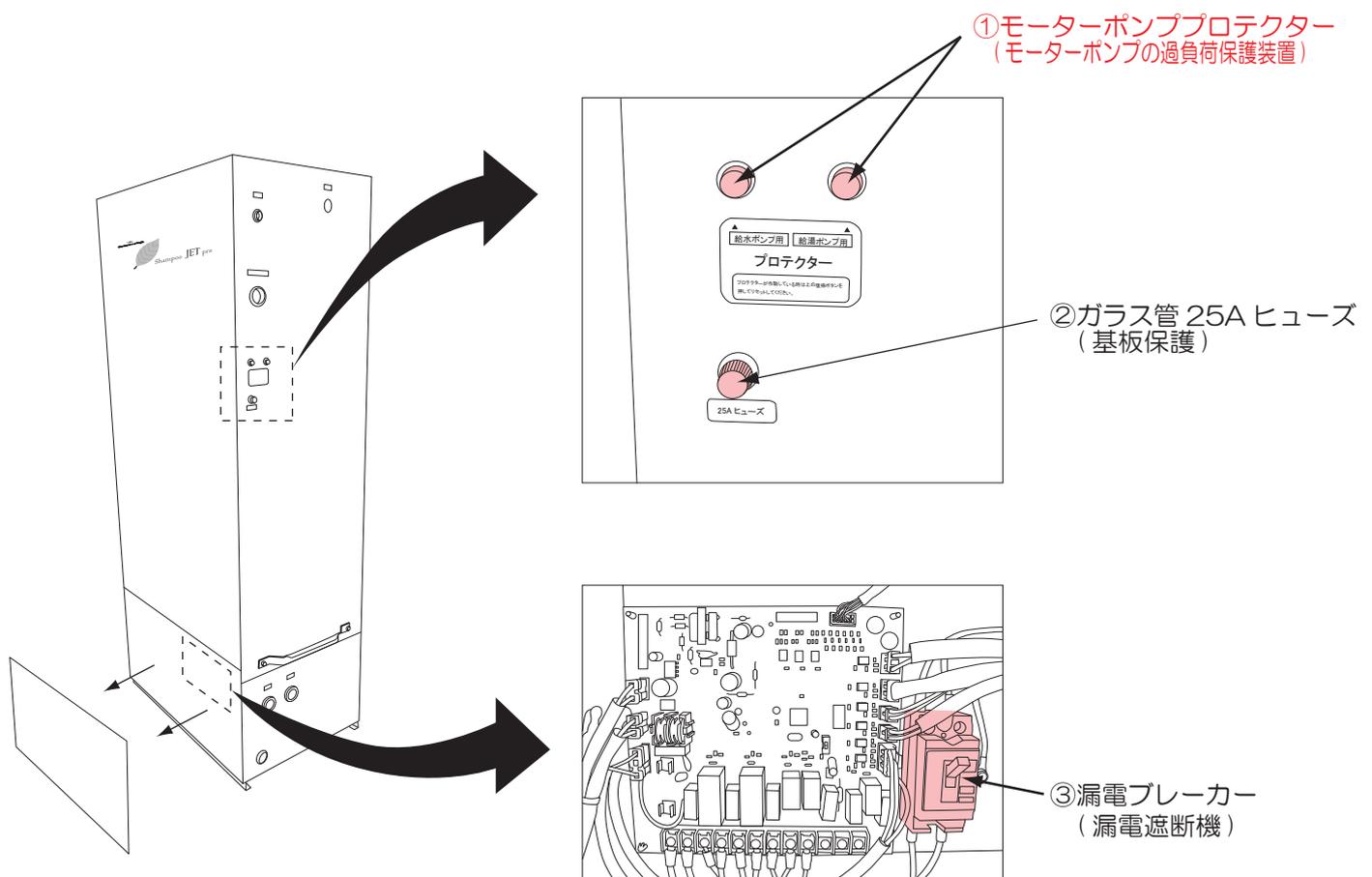
※ガラス管 25A ヒューズが切れた場合には交換が必要になります。（最寄の弊社営業所にご連絡ください）

③ 漏電ブレーカー（漏電遮断機）

漏水・大雨・結露などにより漏電が発生した場合に電気を遮断する装置です。

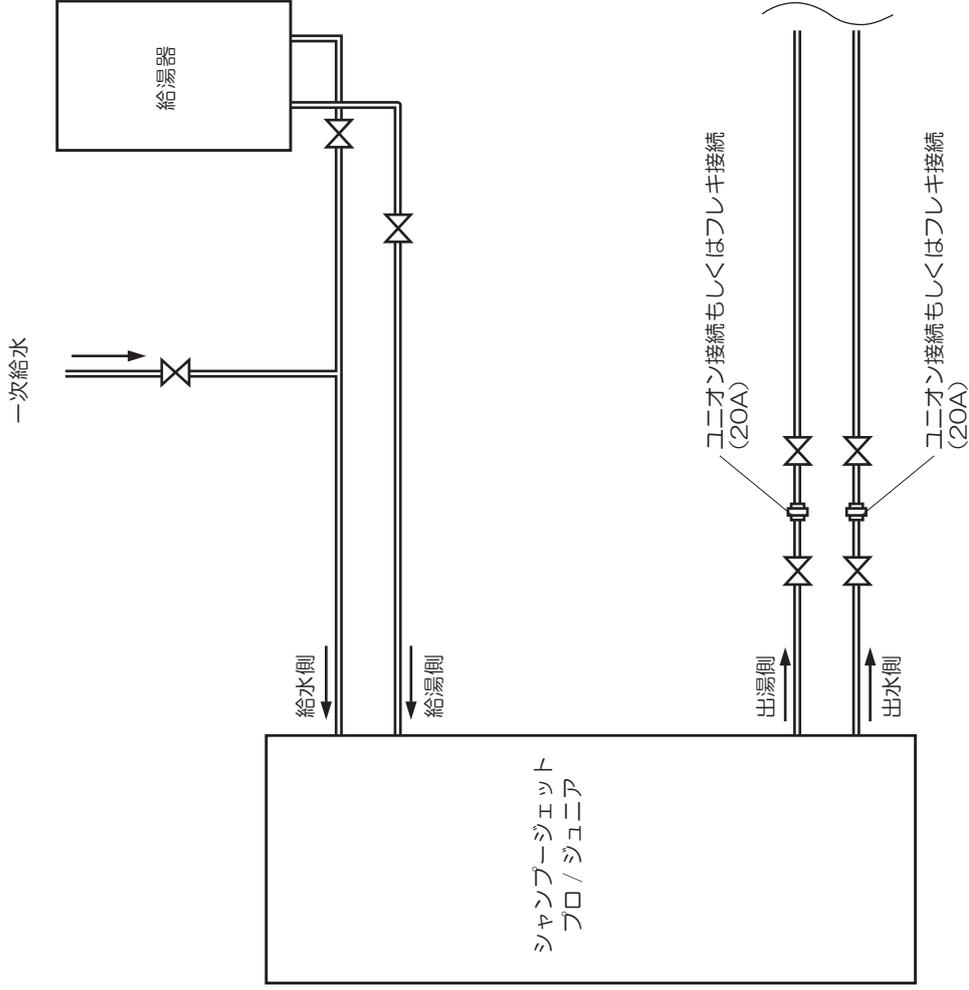
作動するとレバーが OFF 側に倒れます。レバーを ON 側に上げると復帰します。

※万一上記3装置が作動しても故障ではありません。外的要因から機器を保護するための装置です。



Shampoo JET pro / Shampoo JET jr. 配管施工例

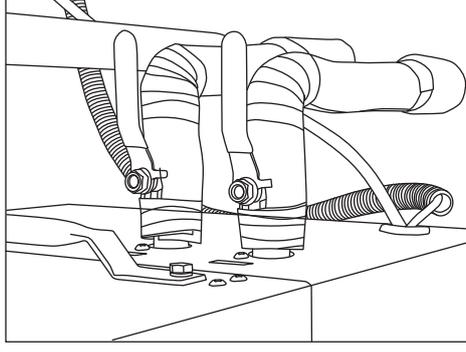
※新規及び特に他社製品からの入れ替え時の施工例。



✕仕切弁

※シャンプージェット・プロ / ジュニアとの接続は保守点検のため必ずユニオン接続もしくはフレキ接続をしてください。
 ※出湯側・出水側ともにバルブ取付け時には、開閉をスムーズに行えるように Shampoo JET 本体とバルブの間隔は十分にとるようにしてください。[図1]・[図2]を参照。

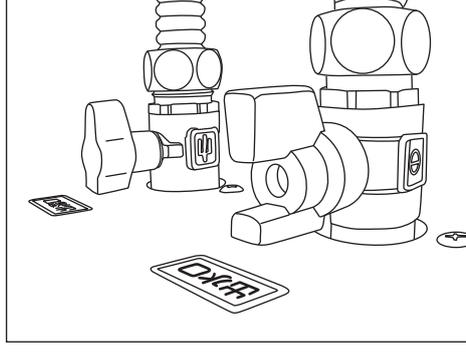
[図1]



良い例

レバー式ボールバルブ

[図2]



悪い例

ツマミが小さく
手で回しにくい。

仕様

品名		給水・給湯加圧ユニット
品番		Shampoo JET pro / Shampoo JET jr.
用途		シャンプーシステム給水給湯加圧用
加圧装置部	定格電圧 定格周波数 定格消費電力 モーター形式 ポンプ形式 ポンプ能力 起動方式 電源コード リモコンコード	単相 AC100V 50Hz / 60Hz 区分あり 1400W(60Hz) / 1120W(50Hz) 単相コンデンサ誘導電動機 渦流れポンプ 0.4kw 圧カスイッチ及び流量スイッチ 2m 10m
貯湯・貯水槽部	貯湯量(給湯タンク) 貯水量(給水タンク) 給湯口空間 給水口空間 材質 給水制御方法 給湯制御方法 給湯制御弁	90ℓ(プロ) 60ℓ(ジュニア) 95ℓ(プロ) 60ℓ(ジュニア) 28mm 40mm 貯湯槽・貯水槽 高密度ポリエチレン ボールタップ方式 フロートスイッチ方式 2方向モーターバルブ型電動弁
接続部	給湯口 給水口 出水・出湯口 オーバーフロー口	ボールタップ接続部 R ¹ / ₂ おねじ PJ ¹ / ₂ おねじ Rc ³ / ₄ めねじ Rc1 ¹ / ₄ めねじ
安全装置	漏電保護 凍結保護 モーター保護 その他	漏電遮断機内蔵 定格電流：30A 定格感度電流：15mA 作動時間：0.1秒作動 凍結防止ベルトヒーター 10W × 6 (外気温 5℃で作動) 過負荷保護装置(モーターポンブプロテクター) 過電流防止 ヒューズ 25A
他	外形寸法 重量	W750×D500×H1800mm(プロ) W600×D500×H1700mm(ジュニア) 約 115kg / 満水時 約 300kg(プロ) 約 100kg / 満水時 約 210kg(ジュニア)
リモコン部	電圧 電源スイッチ 運転切替スイッチ	DC5V [ON/OFF] [通常運転] [お湯抜き運転]
付属品		[給水側]バルブ付ストレーナー(1コ) [給湯側]ストレーナー(1コ) リモコン(1コ) リモコン取付ネジA(4本) リモコン取付ネジB(2本) 転倒防止金具(2コ) ボールタップ(1セット) セパレーター(1コ) ※プロ/ジュニアで仕様が異なります。 取扱説明書・保証書

